

第46回日本薬剤師会学術大会で ポスター発表してきました

I. セルフメディケーションについての薬学生教育～薬学生のOTC薬購入調査を通して～

内容は簡単にまとめると、昨年、ふあるま・ねっと・みやぎが企画した薬学生のOTC薬の購入体験における学生の意見や提案の報告です。

学生が購入した店舗は、全員が薬局ではなく、ドラッグストアでした。これには驚きました。医薬品専用レジが設けられていないストアもあったようで、これは違法ですよ。

薬学生から、購入時のアドバイスの不足、心配りの不足、相談できる場所、などの意見が寄せられました。

ポスター会場では、薬学生の方や実務実習生を受け入れている薬局の方などたくさんの方が足を止めてくださいました。

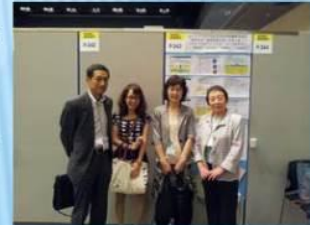
「OTC薬を購入するときに、薬剤師のありかたを考えながら購入してみます」

「実務実習生の体験させたいと思います」

OTC薬の販売できる環境整備は大きな課題です。

薬剤師が生活者の身近な相談者になるためにどうしたらいいか、ご意見をお寄せください。

(富永敦子)



II. 薬剤師による禁煙薬物治療の問題点とさらなる取り組み

～オール薬剤師禁煙ひと声運動キャンペーンを呼びかけて～

喫煙は、多くの健康障害の原因であることが明らかになっており、健康サポートを役割とする薬剤師にとってまず取り組むべきは禁煙支援であろう。薬局における禁煙支援が進まない理由の一つとして、最初のアプローチがうまくいっていないことが挙げられる。「声がけの効用」についての実践結果を踏まえて、全国の都道府県薬剤師会に「オール薬剤師禁煙ひと声運動キャンペーン」への参加を呼びかけた。

すべての薬剤師がひと声をかけることにより、喫煙者の意識に刺激を与え、禁煙に導く。また、どんなひと声、ひと押しがどんな結果に繋がったかを探り、禁煙支援に役立てる。呼びかけの具体例やノウハウを伝えました。広く、継続的に続けていって欲しいと思います(戸田結子)。

